

読書ノート

・無言館 戦没画学生の祈りの絵

窪島誠一郎著
講談社

前にも紹介したと思う本。8月、戦争に歴する本を手に取る。

戦争がどんなに苛酷なことなのか、誰もがわかっているはずなのに人間は休みなく繰り返す。生後6ヶ月で朝鮮から引き揚げてきた直後、母の腕の中で今治空襲を体験したわたし。幼児期、近所の神社の夏祭りの夜、白衣着物に兵隊帽の傷痍軍人。片手、片足、松葉杖、アコードオンを弾く人も。からだり奥に戦火の記憶が埋もれていく。

戦没画学生慰靈美術館、「無言館」の館主窪島は、全国の戦没画学生の遺族を訪ね、遺作を集め、自ら設計した美術館を設立。志半ばで戦死した画学生三十名、三百余点の遺品を展示。

長野県上田市にあるこの美術館をいつか訪ねたいと思いつなから月日が経ってしまった。ゆっくりページを開いて、ひとりひとりの絵を観る、とり返しのつかないことをしてしまった昔しかが、私の胸にもわいてくる。

あまりに暑い毎日、体にこたえます。けやき通信も毎月お届けできないかもしれません、どうぞゆっくりお待ちください。



けやき通信 2024.8月
No.369

一錦織 佳代子一

わかやの新車
スバル
CROSSTREK
クロストレック

GORI はじめの
高知県 宮川町
張距離トライアフ

北川村
クロードモネ財團
公認の世界唯一
「モネの庭」
朝6時起、9時着
名乗ることを許されない

私は、この庭ができたもう一度訪れた。
木々も花々もゆたかに成長し美しい。
印象派の巨匠クロード・モネの絵は岩
こうからひそむ美術館を親しんできただ

日本一暑い町、埼玉

7/28
熊谷市の湯沢さんか

ひとり車で九州の旅。

阿蘇山に登り、日本三大秘境の

椎葉村を訪ね、帰りに

うち寄ってみた。

信州霧ヶ峰のコロボカルビニア
で知り合ったのは、私が23
才のとき。

前回いらしたのは2011年7月と
きと、私も一度熊谷のお宅に泊め
てもらった。